

令和5年度 学校法人 今川学園 事業計画書

1、法人の概要

①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年12月17日設立】

②住所：大阪府松原市天美北3-10-18
電話番号 072-337-1580
ファックス 07-336-3843
ホームページ <https://konomi-k.ed.jp>

③設置する学校：木の実幼稚園
定員480名
実員353名

④理事長氏名：今川公平
*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催

⑤教職員の状況
木の実幼稚園：園長1名・教員34名(内2名産休中) 事務職員1名
派遣職員 バス運転士5名
業務委託 給食調理員4名
令和5年度 新規採用者2名
令和4年度 退職者2名

2、木の実幼稚園の概要

①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	令和5年	幼稚園児実員353名(5月1日現在)
	3歳児	5クラス 110名 前年度109名6クラス
	4歳児	6クラス 108名 前年度135名6クラス
	5歳児	6クラス 135名 前年度111名5クラス
		353名 355名
	未就園児クラス	30名 前年度 35名
	※ホール建築中につき、規模縮小で実施	
	総合計	373名 前年度390名

②教育目標及び方針

【教育目標】

a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。 ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のこともしっかりと出来る。

b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

【保育方針】

- a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。
- b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。
- c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。
- d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああもしてみよう、こうもしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。
- e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。
- f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。
- g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9：10～13：40
Bグループ 10：10～14：40
- 預かり保育 早朝 午前8時から午前9時まで
放課後 午後5時まで

④保育料及び諸経費

- 保育料～ 月額 38,000円 (食材料費 5,000円を含む)
- バス協力費：:月額 5,000円(税込み)

⑤入園時の費用

- 入園料：1, 2年保育～40,000円 3年保育～50,000円
- 設備協力費：20,000円 進級時10,000円

⑥預かり保育

- 月～金曜日：13：40～17：00
- 午前8時から保育始業まで早朝預かり保育を実施
- 夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

⑦行事の実施計画

- 4月／入園式、始業式
- 5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月／参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月／夏休み、地蔵祭り、夏季保育
- 9月／始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園、体験入園
- 10月／運動会、新入園児面接、参観日
- 11月／秋の遠足、日帰りキャンプ
- 12月／音楽発表会、個人懇談会、終業式
- 1月／始業式、ミュージアム遠足、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月／節分、造形展、入園準備説明会
- 3月／卒園式、終業式

⑧ 主な新しい事業の目的・計画

- 1、令和5年10月末に新ホール竣工を目指す。総事業費 2億6千万円(予備費2千万円を含む)とする。

事業費の内、2億1千万円は、子会社であるオーストラリア シドニー にあるIMAGAWA GAKUEN PTY.Ltdよりの配当金のストックを以て充当させ、残り5千万円は私学共済組合より融資を受けるものとする。新ホール建設に伴い、夏季休業中に旧ホールは解体し、東側大運動場と南側新運動場が一体となるので、園庭の整備を合わせて行う。園庭には緑地帯を整備し、緑や草花と子ども達が関われる環境を一層充実させる計画である。

- 2、新ホール1階部分は、子育て支援ルームとして機能させる計画であり、未就園児クラスと預かり保育を主に行うスペースとする。室内には、絵本ライブラリーとおもちゃライブラリーを設置し、絵本とおもちゃ選定委員を教職員から選出し、具体的な整備を進めていく計画である。

将来的には、保護者と子どもが定期的に絵本とおもちゃに触れ、遊び、また貸し出しも行える機能を持たせる計画である。

- 3、前年度から継続して、京都教育大学 佐川早季子准教授の提案による木の実幼稚園のアートとプロジェクトアプローチ型保育を中心とした独自の実践を、一般書籍として年度内を目途に纏め、出版を目指す。当初予定より1年遅れているが、現在出版社決定について協議中である。

企画・編集会議を今後も定例で開催、教員も参加して、実践記録等の原稿を令和5年度中にまとめ、令和6年春の発刊をめざす。仮題は「アートでふくらむ遊びの世界」。読者は、保育者・研究者・保護者を想定する。

監修および解説は、滋賀大学准教授 山本一成先生および佐川早季子先生とする。